



月刊 千葉労働

国鉄千葉動力車労働組合

〒260 千葉市中央区要町2番8号 (動力車会館)
電話 (鉄電) 千葉 2935・2939 番
(公) 043 (222) 7207 番

96.7031 No. 4491

われわれの投票行動として 全力で11・10へ

小選挙区制下での初めての総選挙が実施された。第四一回総選挙は、戦後史の大きな転機となった。労働者の怒りや要求を代弁してくれるところか、かすかな望みすら託すことのできる政党はどこにも見いだすことができない。

今回の総選挙に対し動労千葉は、「支持できる政党がない」との判断をせざるを得なかった。全国のほとんどの労働者が同じ気持ちで今回の総選挙を迎えたことは間違いない。ほとんどの労働者が「政治に期待できる」となど何ひとつない」と思っている。全ての政党が同じことを合唱する総保守反動化の現代版翼賛政治状況や、全てが虚言に満ち、昨日言ったことを今日覆してはばからない「政治」が大手をふつて歩く状況に誰しもが腹の底からうんざりし、できることなら、全ての政治家をそっくりごみ箱にでも投げ捨ててやりたいと思っている。「このままおし流されたら大変なことになる」「いったいどうしたらいいのか」と、多くの労働者が切実に思い始めている。

新たな出発点！

われわれは、いよいよ本当の意味で労働者の底力が問われるときがきたのだということに腹にすえて、ここから新たなスタートを切る。労働者が支持できる政党が全く存在しなくなるという事は、労働者がひとつの階級として団結し、ときの政府

や資本に対して声をあげることそのものが解体されようとしていくということだ。だからこの状況を樂觀視することは絶対に間違いだ。しかしわれわれは絶望もしない。なぜなら、ある時は自民党や資本の顔色をうかがうか、あるときは労働者の顔色をうかがって、いつも労働者の怒りや闘いを中途半端に妥協させてきたかつての社会党的な存在が無くなったということは、事態の本質が隠しようもなくなるということだからだ。

大失業時代が到来しようとする状況のなかで、多くの労働者が日々、「資本と労働者の利害は絶対に相容れることはできない」という現実を思い知らされている。怒りが満ち、地鳴りのように響きはじめている。多くの労働者が闘いの方針を求めている。沖繩からは、おし止めよりのない積年の怒りが噴出して、地に墜ちた総選挙は労働運動の荒々しい復権に向けた出発点を築いたのである。

一層深まった 支配の危機

総選挙は、史上最低の投票率に終わった。とくに、新聞の事前調査では、これまで社会党を支持してきた者の五〇％が棄権すると回答している。自民党が勝利したなどというが、比例区で「自民党」と書いた者は、全有権者の二〇％にも満たない。「フザケルナー」とか「消費税

反対！」とか書いて投票した無効票のことを「雑事票」と言うそうだが、この雑事票や白票は前回選挙の三倍以上になっていく。つまり、圧倒的に多くの労働者が今回の選挙を事実上ボイコットする形で抗議の意志を表している。

また、今回の選挙では、小選挙区制の恐ろしさも明らかになった。小選挙区では、自民党は、三九％の得票率で五九％の議席を得た。逆に言えば、支配政党に圧倒的に有利な選挙制度を手に入れながら過半数を獲得することができなかったということ。これは、「自民党の勝利」などとは到底言えないということだ。

だから、混沌とした政治危機・支配の危機がこれからも延々と続くことは間違いない。自民党はより強権的な政治支配を一層強めることでのり切るしかない。しかし過半数を握ることもできない支配政党が強権支配を強めれば強めるほど支配の土台は揺るものである。労働者にとつてはこれからこそが勝負のときだということだ。

新たな潮流を！

一方労働者は、新進党はもとより、民主党も社民党も拒否した。もう騙されはしないと心に刻んでいる。労働者の抵抗力は解体されていない。共産党は一定の議席を伸ばしたが、全く労働者の支持を得ていくわけではない。最も厳しい攻防点である職場で共産党の諸君がどれほど闘いを裏切ってきたのか、多くの労働者が百も承知しているからだ。

われわれは、今こそ土台から新しい闘いをつくりあげなければならぬ。いよいよその好機が到来したということだ。動労千葉がこの間進めてきた労働運動の新しい潮流をめざす闘いがこれまでになく注目を集めている。焦点は正念場を迎えた国鉄闘争と安保・沖繩闘争だ。全力で一一・一〇全国労働者集会の成功をかちとろう！一一・一〇はわれわれの投票行動だ。勤務以外総結集をかちとろう。

秋冬の4大闘争

1. 恒常的ストライキ体制を強化し、12月ダイ改合理化一組織破壊攻撃を粉碎しよう！
2. 「国労解体」を叫ぶファシスト組合＝JR総連を解体し、組織拡大を実現しよう！
3. 清算事業団闘争の政治決着＝幕引き攻撃を許さず、解雇撤回闘争の勝利の展望をひらこう！
4. 今年1年間の成果を全て11・10労働者集会に集約し、5千名の結集を実現しよう！

11/10 北東列車

千葉 10:34 快速
12:49 快速

新たな10万人合理化粉碎!! 労働運動の新たな潮流めざし全国へはばたこう!!